

## 第5章 防災情報の迅速かつ確実な伝達に関する基本理念

本調査は、緊急防災情報に関する情報伝達・提供システムのあるべき姿を明確にするとともに、防災関係機関間の情報伝達の迅速化・確実化、住民等への情報提供手段の多様化の観点から、自助・共助・公助の総合的な推進のための情報伝達・提供システムの整備推進について検討することとしており、第3章および第4章における防災情報の伝達・提供に係る現状と課題・問題点を踏まえ、防災情報の迅速かつ確実な伝達に関する基本理念を下記のとおりとする。

### < 防災情報の迅速かつ確実な伝達に関する基本理念 >

#### 公助としての行政の防災対応を支援する情報伝達の迅速化と確実化

- ・ 迅速に伝達することに関する伝達主体の責任分担の明確化
- ・ 確実に伝達することと迅速に伝達することの両立
- ・ 緊急な避難誘導等の防災対応に関する意思決定の支援
- ・ 緊急時における円滑な防災対応のための平常時からの体制整備

#### 自助・共助の防災行動を支援する情報受発信体制の強化推進

- ・ 防災情報の個々の住民、団体等への直接的情報提供の促進
- ・ 個々の住民、団体等の防災行動に必要な対応等に関する広報等の強化

また、本調査における具体的な施策の検討にあたっては、上記「防災情報の迅速かつ確実な伝達に関する基本理念」を踏まえつつ、図 5.1 および図 5.2 に示された基本的な考え方に沿って検討することとする。

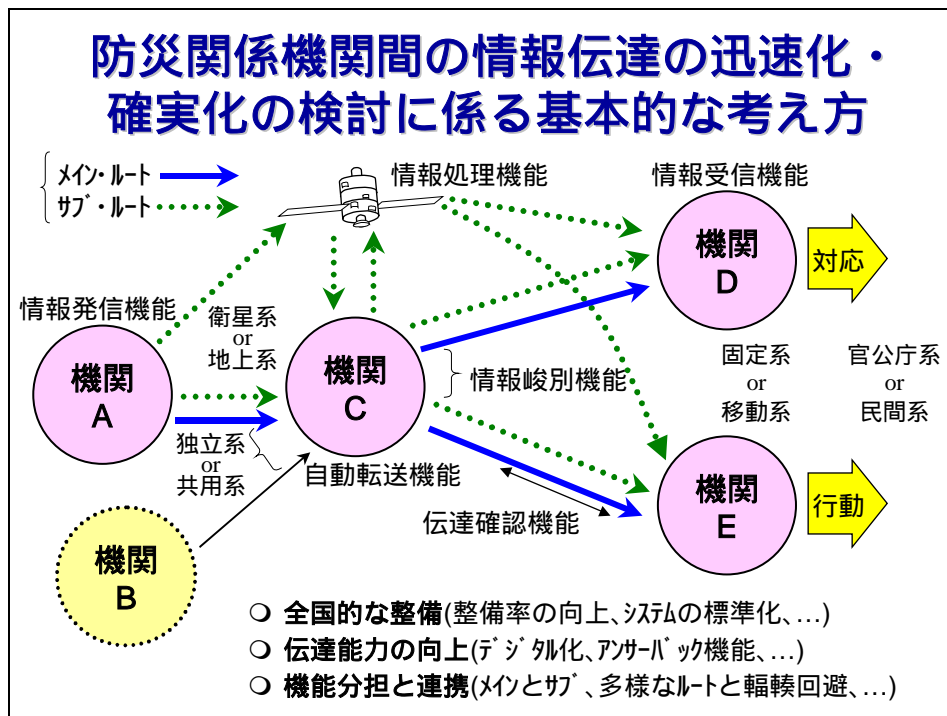


図 5.1 防災関係機関間の情報伝達の迅速化・確実化の検討に係る基本的な考え方

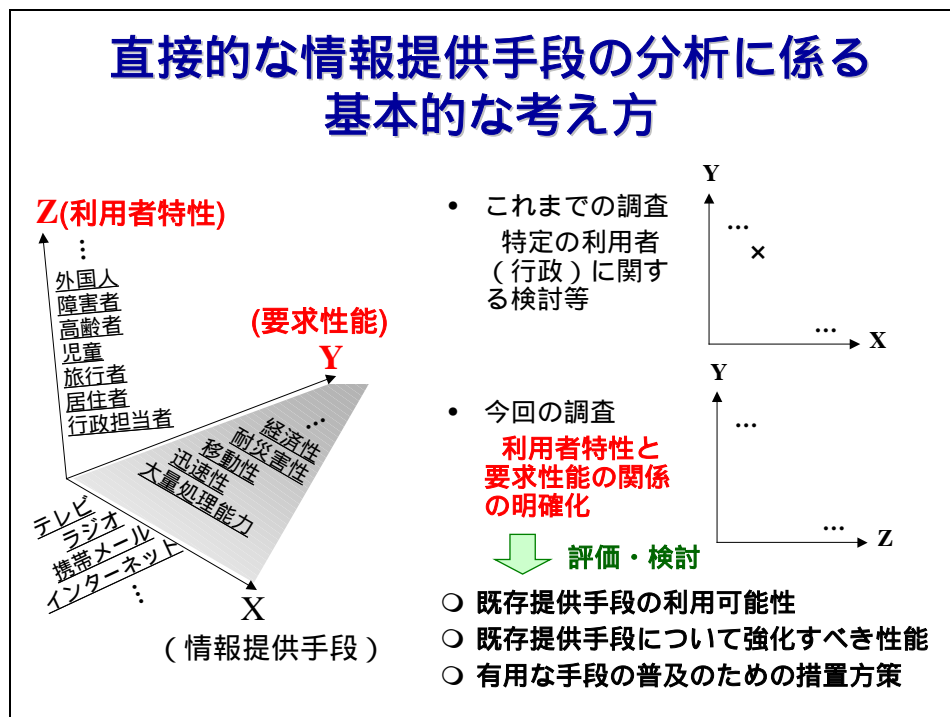


図 5.2 直接的な情報提供手段の分析に係る基本的な考え方